

よみがえれ水口岡山城

毎年恒例の巨大バルーンによる水口岡山城の再現のほか、今年は「忍者逆バンジージャンプ」や東海道五十三次水口宿名物「どじょう汁」「かんぴょう巻」の提供など楽しい企画が催されます。



日時など、詳細は7ページ

自分たちが育った甲賀市を素晴らしいまちに

かつて古城山に水口岡山城があったことを市内外の方に知ってもらい、水口岡山城をまちのシンボルとして市民の郷土意識の向上や市外への魅力の発信につなげられるよう活動しています。



一般社団法人水口岡山城の会
おかわらひさえつ ふうみはらひろし
岡村 久悦さん 文原 弘司さん

甲賀市 観光ボランティアガイド

市内の豊かな魅力を知っていただくため、ガイドブックだけでは得ることのできない地域住民ならではの観光案内で訪れた人をもてなしています。



▲観光客に矢川神社(甲南町森尻)を案内する観光ボランティアガイド

甲賀市は魅力がいっぱい 魅力を知れば 甲賀市がますます好きになる

退職してから、何かボランティア活動をしたいと考え、旅行が好きで、旅先で観光ボランティアの話聞き、これなら私にもできるかなと思いつき、6年前に始めました。



甲賀市観光ボランティアガイド連絡協議会
おかだやすゆき
会長 岡田泰幸さん

40年以上甲賀市に住んでいます。現役の頃は仕事のことばかりで、自分が住んでいるまちのことを良く知りませんでした。自分の住んでいる地域だけでなく、ガイドの研修で他の地域のことも知る機会ができた。のまちは素晴らしいものがたくさんあることを知りました。今の季節、市内には桜の名所がたくさんありますし、仏像や山城などの文化財に季節の祭りやイベント、日本遺産に認定された忍者

協働で史実を考慮し、デザインされた世界に一つしかない「水口岡山城バルーン」なんです。地域の方の「ここにこんなお城があったんや」とうれしそうに顔を見せた瞬間や、「今年はどんなことするの?」と期待の声をいただくことがうれしいです。

今年、よみがえれ水口岡山城では、東海道水口宿の名物であった「どじょう汁」と「かんぴょう巻」を提供します。このように水口岡山城と城下町、そして東海道を一体として発信するための企画を毎年行っています。また、県外にもPRするため、このイベントの広告を京都駅にも掲示し、多くの方に甲賀の地に足を運んでもらえればと思っています。

私たちは、利益を追求する団体ではなく、自分たちが育った甲賀市を素晴らしいまちにしたいという思いで活動しています。なにより、周りにいる仲間と、同じ思いで一生涯懸命に活動することを一番楽しんでいます。



▲試行錯誤しながらどじょう汁を試作する水口岡山城の会の皆さん

「歴史メモ」
水口岡山城跡(水口町水口古城山) 国史跡

天正13年(1585年)、豊臣秀吉の命によって築城され、東海道を眼下に見据える立地から、秀吉の天下統一における東国制覇の足掛かりの城と位置づけられました。

市では、これらの史跡などの観光資源を活用したイベント開催や観光資源の磨き上げにつながる新規事業を補助しています。

や信楽焼と、見どころがいっぱいあることを実感しました。ガイドをして、魅力を知れば甲賀市がますます好きになると思います。

まちの魅力を今度は観光客の皆さんに伝え、「もう一度来たい」というリピーターの獲得をめざします。

プロから魅力あるガイドとなる秘訣を学ぶ 忍びの里ガイド 養成講座を開催

日本遺産に認定された「忍びの里 伊賀・甲賀」のストーリーや構成文化財を「忍者」と関連付けて、わかりやすく解説できる観光ガイド育成講座を開催しました。

参加者は、全4回の講座や現地研修でカリスマ添乗員や大学准教授、アナウンサーなど各分野のプロから、魅力あるガイドになる秘訣を学びました。



▲油日神社(甲賀町油日)でカリスマ添乗員平田進也さんからガイドの指導を受ける参加者

観光ボランティアガイド募集

問/甲賀市観光ボランティアガイド連絡協議会
(甲賀市観光協会内) ☎60-269900 ☎60-23362

信楽窯元散策路 ぶらり窯元めぐり

窯元散策路周辺に点在する22の窯元が、作陶体験や作品の展示など、個性豊かな企画で訪れた人をもてなします。



窯元側から情報を発信し、観光客と顔の見える関係を作りたいと、有志でつくる「窯元散策路のWA」が毎年開催しています。

日時など、詳細は6ページ

信楽の魅力 「人」をきっかけに 信楽ファンを増やしたい

私たちは、大学の地域活動プログラムで、信楽で陶業を営む窯元の職人さんと共に地域の魅力を発見、発信する活動をしており、その一環として、ぶらり窯元めぐりやまちなか芸術祭などイベントの運営をお手伝いしています。



滋賀県立大学 地域活動学生チーム
しがらきひと さかくちあや
信・楽・人 坂口亜弥さん

活動を通して、いろんな職人さんと接するなかで、「人」が信楽の魅力のひとつであると感じました。信楽には温かく、面白い人がたくさんいます。職人さんが、どんな方で、どんな生活をしているのか、それが作品のルーツになっていると思うので、その部分を見せ、「人」をきっかけに、信楽焼や信楽のファンを増やしたいという思いがあります。過去には、「窯元散策路のWA」とコラボして22の工房の職人さんにインタビューした冊子を作成したこともあります。

ぶらり窯元めぐりは、各工房を巡って、いろんな職人さんに会い、お話を聞くことができる貴重な機会です。坂が少しきついです。行く先々で陶器や職人さんとの素敵な出会い、坂を上りきると、最高の見晴らしが待っています。ぜひ参加して、まちや陶器の魅力を知ってほしいです。

「歴史メモ」 窯元散策路(信楽町長野) 日本遺産

「ろくろ坂」「ひいろ坂」「窯場坂」等に沿って信楽焼の窯元が点在するエリアで、日本遺産に認定された「きつと恋する六古窯」のストーリーを構成する文化財のひとつです。

